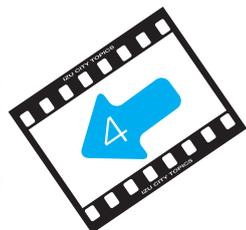


ミステリーハイクでは「きよせの森」で  
探検&謎解き

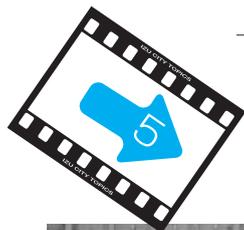
炊事をする立ちかまどを自分たちで作成



8月6日(金)から8月8日(日)まで、今年度第1回だるま山高原自然塾のキャンプが、だるま山高原キャンプ場で行われました。6月から参加者を募集し、県内の小学5、6年生・36名が参加しました。子どもたちは5、6人の班に分かれ、テントの組み立てや飯ごう炊飯など、普段の生活では体験することのできない貴重な経験をしました。また、2日目にはだるま山のハイキングコースを活用した「ミステリーハイク」を行いました。自然を体で感じながら謎解きをして、友情という宝探しをしました。閉会式では、はしゃぎ疲れた子どもたちと、ボランティアスタッフがそれぞれの思いを胸に全員で握手をし、感動に思わず涙を流す子どももいました。子どもたちにとって、楽しく忘れられない3日間になりました。



## 大自然で忘れられない夏の思い出 だるま山高原自然塾

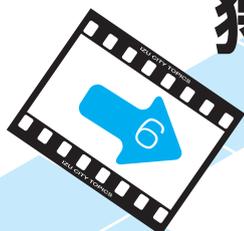


## アテネでの活躍を祈って 五輪女子ソフトボール壮行会



活躍を祈る千金メダルを監督に手渡しました

7月25日(日)に天城ドームで、オリンピック女子ソフトボール日本代表チームの壮行会が行われました。アナウンスで紹介されると、選手・宇津木監督・スタッフが観客にボールをプレゼントしながらグラウンドに整列しました。市民のみなさんが応援メッセージを書き、思いを込めて作った「千金メダル」を、土肥中ソフトボール部主将の大木彩香さんが、「ぜひ本物の金メダルを持ち帰ってください」と話し、宇津木監督に手渡しました。



## ちよっかつ 狩野川直轄 砂防施設見学会

砂防施設についての勉強



水恋鳥広場でのマスのつかみ取り

土砂災害の恐ろしさと砂防事業の大切さを知ってもらうため、国土交通省沼津河川国道事務所と伊豆市による狩野川直轄砂防施設見学会を7月27日に行いました。

市内の4年生から6年生までの小学生約70名は昨年7月の豪雨により大量の土砂が堆積した「猫越第4砂防堰堤」の見学や自然に配慮した砂防施設の「長野床固工群」を見学し土砂災害、砂防事業についての学習をしました。その他、マスのつかみ取りやスイカ割などを行い、楽しい一日を過ごすことができました。



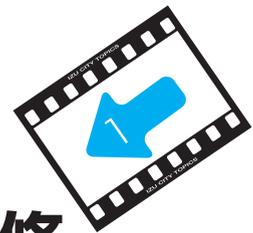
8月2日(月)に、修善寺駅前区祭典委員会による「2004・修善寺夏まつり」が開催されました。夜には駅前バス駐車場で手筒花火が行われ、観客は手筒花火の力強い光と音に、

駅前商店街にはたくさんの出店が並びました



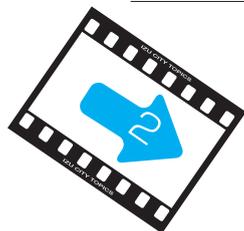
驚きと歓声の声が上がりました。また、最後に恒例となっている打ち上げ花火が行われ、修善寺の夜空を鮮やかに彩りました。

迫力の手筒花火



## 修善寺夏まつり

出店、手筒・打ち上げ花火が夏の駅前を熱くする



## 幻想的な夜にうっとり 夏の風物詩 桂座が開催

修善寺の夏の風物詩「修善寺芸能処・桂座」が、ギャラリー修善寺回廊で開催されました。8月5日(木)から8日(日)まで、各分野で活躍する一流の出演者が、修善寺の空気を肌で感じ得たものを表現するプロウィークが行われました。8月10日(火)から16日(月)までは、地域のアマチュアによる公演が行われました。初日の5日は静寂に包まれた修善寺温泉街の夜に、美しい三味線と沖縄の三線の音色が響きわたりました。



とてもいい雰囲気です。聞く演奏



中学生からお礼の花束が手渡されました

## プロの演奏に感動！ Rin'が中学校で 楽器の説明と演奏



7月22日(木)、伊豆市誕生のテーマソング『サイの神』を唄い、伊豆市のふるさと親善大使である女性3人組ユニットRin'が、中伊豆中学校を訪れました。Rin'は生徒に和楽器の魅力を伝え演奏しました。生徒は間近で聴くプロの演奏に感動していました。また夜にはRin'のコンサートが修善寺総合会館で行われ、市内外から多くの方が、Rin'の演奏を楽しみました。



間近で聞くプロの演奏